

the Lion



ザ・ライオンタイムズ DISTRICT 334-C



2018

大井神社
十月十日祭
十月十一日祭
十月十二日祭
十月十三日祭
十月十四日祭
十月十五日祭
十月十六日祭
十月十七日祭
十月十八日祭
十月十九日祭
十月二十日祭
十月二十一日祭
十月二十二日祭
十月二十三日祭
十月二十四日祭
十月二十五日祭
十月二十六日祭
十月二十七日祭
十月二十八日祭
十月二十九日祭
十月三十日祭

安産祈願

地区ガバナーアピール

■ACT報告

■年次大会案内

■事務局だより

GOVERNOR APPEAL

地区ガバナーアピール



地区ガバナー
大石 清美

新年あけましておめでとうございます。御代替わり令和最初お正月を迎えるとともに、干支では庚子(こうし・かのえね)12支始まりの子(ね)年でもあります。

干支学では、今までのものを継承しつつ、原点に返り万物が盛んとなり始まるようです。

今年2020年日本でのオリンピック開催もあり、心弾む一年に遭遇できたことに感謝申し上げます。

さて、今年度上半期には、大型台風による自然災害に見舞われましたが、大過なく順調にキャビネットの運営ができました。これも、地区役員・各クラブ会長各位をはじめとして、地区内会員各位の温かいご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

上半期GAT活動におきましては、クラブ活性化セミナーとして、『スペシャリティクラブ&支部クラブ』(L吉原稔貴)『ガイディングライオン』

(L浜野雅司)2つのセミナーを開催し、会員増強やクラブ活性化のヒントをいただきました。

また、クラブ活性化計画としてCQI研修(岡野GLTコーディネーター)を実施しました。

今期新たに各リジョンごとGST委員とFWT委員を新設致しました。

GST委員会による新たな奉仕の創出の推進

(昨年に続きフードバンクへの食糧支援・世界糖尿病DAYに合わせた行動・ライフジャケット寄贈事業等)。

FWT委員会による女性や家族の力で新たな奉仕の創出の推進(小児がんの子どもたちへのヘアードネーションの実現等)新たな試みを見事に実現していただきました。

ヘアードネーションに関してはGST委員や各地区ZC、各クラブの皆様のご尽力が大きな成果となりました。まさに男女共同参画の賜物と思います。

男女共同参画基本法が閣議で決定されたのは、平成12年12月12日(2000年)で20年目にあたります。さらなるクラブ活性化のためにも女性に参画の 때가満を持してきたと思われます。今後の皆様のご助力を切にお願い申し上げます。

奉仕活動とLCIF寄付はライオンズ活動において、車の両輪であると考えます。

1日30円365日で「100ドルキャンペーン」が実現できます。

今後下半期地区会員の皆様方に於かれましては、各クラブでの当初の目標を今一度ご確認いただきまして、年度末目標実現に向けて有終の美が飾れますようそして成果を皆で称賛できますようご期待申し上げます。

GOVERNOR APPEAL

新年ご挨拶



静岡県知事 川勝平太

新年、明けましておめでとうございます。

ライオンズクラブ国際協会334-C地区の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、環境保全や青少年健全育成などの様々な奉仕活動を通じ、各地域における課題の解決に多大なる貢献をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

世界的なつながりを持つ奉仕団体であるライオンズクラブの皆様には、長年にわたり培われた豊富な経験、柔軟なチームワークを活かし、モットーである“^{ウィー サーブ}We Serve”の下、本年も様々な分野でより良い地域社会の実現のために御活躍されますことを御期待申し上げます。

昨年開催されたラグビーワールドカップ2019では、エコパスタジアムにおける日本の歴史的勝利が「シズオカ・ショック」として世界を駆け巡りました。そして本年は、東京2020オリンピック・パラリンピックの自転車競技が東部・伊豆地域を中心に開催され、“ふじのくに”静岡県の魅力を世界に発信する絶好の機会が訪れております。

この機会を捉え、国内外との交流の更なる拡大を図り、本県が、誰もが努力すれば人生の夢を実現し、幸せを実感できる「^{ドリームズ カム トゥルー イン}Dreams come true in ^{ジャパン}Japan」の拠点となるよう、全力で取り組んでまいります。貴地区の皆様にも一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ライオンズクラブ国際協会334-C地区のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。

髪 失った子を笑顔に

1 R・1 Z 浜松リバティLC



ヘアドネーションとは小児ガンなどで髪を失ってしまった子供に人毛のかつらを作るため自らの髪を寄付することです。

当地区ではこのヘアドネーション事業に取り組むことになり、私たち浜松リバティライオンズクラブでも今期の事業としてヘアドネーション啓発運動を推進し、協力を呼びかけてきました。

今回第一号として、栗山章子さん(41歳)と、次女の栗山季依さん(7歳)、三女の栗山芽依さん(6歳)の親子三人と、お友達の江間よつ葉さん(6歳)の四人が揃ってヘアドネーションに協力してくれました。

このドネーションをするために三年間髪を伸ばしてきたそうです。母である栗山章子さんは医師で、髪の毛に悩む子供たちと実際に接したことがあり、昨年8月長女の真依さん(8歳)にヘアドネーションをすすめ寄付したところ妹たちも「私たちもやりたい」と声を上げ、

髪を伸ばしてきたそうです。

子供たちの心を育むことにも繋がったドネーションでした。

一つのかつらを作るのに20~30人の髪が必要となります。31cm以上の長さが必要です。その中で母と子とお友達、四人揃ってドネーションしてくれたことは今後この活動がますます広がっていくことのきっかけになると思います。

ドネーションして頂いた髪は、かつら製作をしているNPO法人ダージャックに送りました。

髪を切った子供たちは「馬のしっぽみたい」「すっきりした」とニコニコしていて、その姿を見て奉仕の心を伝えることの喜びを感じ、クラブとして人として素晴らしいことだと改めて実感しました。

SPECIAL EDITION

第27回献眼者合同慰霊祭

さらなる献眼活動推進を確認

1 R・2 Z 豊田LC



第27回献眼者合同慰霊祭が10月19日、目の霊山として知られる袋井市の油山寺で営まれました。中遠地域11のLC会員や献眼者の遺族、来賓ら関係者約150人が参列されました。来賓は、磐田市長、袋井市長の他、国会議員、県会議員ら多数のご臨席をいただきました。黙とうをささげた後、読経の中を焼香して角膜の提供に応じた献眼者の冥福を祈りました。

1 R・2 ZC のL 鈴木 晃の式辞の後、献眼者ご遺族代表の袋井市の佐藤様の挨拶では、献眼を望んでいた父の遺志を実施された心境が語られました。献眼精神の尊さを感じました。

その後、角膜手術を受けた人のお礼の言葉が、豊田LCのL 太田から代読で紹介されました。視力の無かった人が、角膜移植で視力が回復した時の喜びが伝わってきました。今後の人生を恥ずかしくない生活を送ることを感謝のしるしとしたいと語られました。

来賓のご挨拶は、静岡県アイバンク常務理事の江川様と磐田市長の渡部様からいただき、今後の献眼活動のさらなる充実に期待が寄せられました。渡部磐田市長からは、以前から夫婦でアイバンク登録をされていると語られました。敬意を表します。

ホストクラブ謝辞では、豊田LC幹事のL 大橋が、参加者への御礼とともに、油山寺が目の霊山となった歴史が語られました。

中東遠地域のLCは没後に角膜を提供した人のため1993年に油山寺境内に慰霊碑を建立し、毎年秋に慰霊祭を営んでいます。

今回担当した豊田ライオンズクラブ（磐田市）においては、今回の慰霊祭を盛会に執り行うことができたことを大変嬉しく思います。関係皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。

10月6日77クラブ統一奉仕の日

1 R・3 Z 湖西 L C



1R.3Zでは、10月6日「77クラブ統一奉仕の日」について、食べる物がなくて困っている方への支援として、「フードバンクふじのくに」への食品の寄付がガバナー大石清美より呼びかけられました。

私たちの所属する3Zでは、ゾーン内各クラブ会長へ食品の寄付の依頼を行い、各クラブにて例会等を通し、それぞれメンバーへ呼びかけを行いました。各クラブ収集分を、9月30日までにそれぞれのクラブから1R.3ZC河邊琴一へ届けていただき、代表してZCより、「フードバンクふじのくに」へ送付しました。

各クラブメンバーへの呼びかけにより、カップ麺等が多くZCのもとへ集まりました。当日は、「フードバンクふじのくに」へ宅急便にて送付しました。

湖西ライオンズクラブの事業では、食品に関する寄付などは今までほとんど行ってきていませんでした。しかし、食事に困っている人がいるという現状を知り、そのような方々へ、少しでも支援することのできるいい機会となりました。今後は、このような支援も事業の中に入れていけたらいいと思います。

SPECIAL EDITION

地元中学校で薬物の恐ろしさを教える

1 R・4 Z 御前崎 L C



御前崎ライオンズクラブ（竹内浩会長／48人）は11月14日（木）、御前崎市立浜岡中学校の2年生（6クラス、188名）を対象に、薬物乱用防止教室を実施した。当クラブでは、御前崎中学校でも1年生の全クラスを対象にした同教室を毎年7月に行っている。

当日は各クラスを2名の講師が担当。クラブの紹介のあと、薬物、たばこ、お酒が及ぼす害についてポスター等を活用しながらわかりやすく説明したのち、DVDを上映した。

続いてはロールプレイング。地域の人や先輩、友人からたばこやお酒を強く勧められたり、誘われたら、どうやって断るか。誘う役の講師に対し生徒は「嫌です」とか「興味ありません」など、毅然とした態度や言葉で断ることができていた。それぞれの生徒の断り方について、他の生徒がコメントをしたり、講師がアドバイスをするなど、とても実践的な内容となった。

最後には、まとめとして生徒が教室で聞いたことや感想などを書き留めていた。

「成長期に悪影響が出ることが分かった」「将来の子供までも危険が及ぶと聞いて、絶対にやらないと思った」「勇気を持って断ることが大切だと改めて思った」など、異口同音の感想が寄せられた。薬物の恐ろしさ、心と体の健康、そして自分の人生の大切さを生徒の心に響かせることができたのではないかと。

当クラブの青少年健全育成事業の一つとして、薬物乱用防止教室を通じて、薬物の恐ろしさを正しく理解してもらい、生徒の成長に寄与すべく、活動を継続していく。そのためには認定講師の増強も課題である。当クラブでは、教室以外にも、毎年、両中学校の生徒から薬物乱用防止の啓発ポスターと標語を募っている。今年は、両校から過去最多のポスター80作品、標語224点の応募があり、秀作が多い中、クラブ理事による審査の末に入選作品を決定した。入選者には表彰状を贈呈するとともに、入選作品は御前崎市役所ロビーなどに展示している。

あさはた緑地時計寄贈

2 R ・ 1 Z 静岡葵 L C



2019～2020年度の2R1Z・5LCの合同アクティビティを考えるにあたり、ちょうど静岡市が市街地から北に5Kmほど郊外の「麻機遊水地 第一工区」の自然再生対象区域に、自然とふれあう体験型の都市緑地「あさはた緑地」の整備計画に着手している所で、原っぱ（多目的広場）、トイレや駐車場がすでに完成しています。

そこに静岡市公園整備課のスタッフから市民の憩いの場所となるこの場所に「時計の設置を予定との情報を頂き、5LCの合同アクティビティとして寄贈させて頂き、令和元年10月25日に寄贈式を挙行いたしました。

この「あさはた緑地」は、令和2年度までにセンターハウス、遊戯施設、展望台設置、体験農園エリア園路舗装整備が予定されており、今後ますます市民の憩いの場として利用されることになると思います。

上の写真は、ソーラー式ポール時計と下部の基礎には5LCの名前が彫り込んだ銘板です。

「あさはた緑地 時計寄贈式」
 挙行日：2019年10月25日（金）

当初は「あさはた緑地」での予定でしたが、前日の天気予報が大雨との予報で、急きょ、場所を市役所市長応接室に変更となりました。贈呈式では、静岡市からは田辺信宏 静岡市長と公園整備関係のスタッフ、ライオンズクラブからはZ C、地区委員、5 L C各会長が参列し、報道関係者にもご足労いただきました。

時計の現物写真を掲示しての贈呈式で、Z Cから静岡市長へ目録の贈呈、静岡市長から感謝状の授与が行われました。

静岡市長からは、感謝の辞と、ライオンズクラブの平素の奉仕活動へのご理解のお話を頂き、また、静岡市のさらなる活性化へ協力を惜しまないことをお伝えしました。上の写真は、出席者全員の集合写真です。

SPECIAL EDITION

就労継続支援事業交流ボーリング大会

2 R・2 Z 清水日本平LC



清水日本平ライオンズクラブは、9月25日に蒲原ライオンズクラブと会員の関連会社社員の協力も仰いで、就労支援施設通所者とその家族の皆様180名を招待してボーリング大会を行いました。

就労支援施設に通所している皆さんは、レクリエーションを楽しむ機会も少ないことから、日頃の作業は忘れて気分転換を図っていただきたと考え、ボーリング大会を開催しています。開催当初は参加人員も少なかったが、回を重ねるごとに参加者も増え、全レーンを貸し切るまでに規模も拡大しました。

メンバーも既に多くの参加者と顔なじみであることから、開始前から楽しげな会話に花が咲き、昨年の成績や今年に掛ける意気込みが語られるなど、熱気の中にも和気あいあいの雰囲気でした。

ボーリング大会が開始されると、ストライクやスペアーが続出し、満面の笑顔で体いっぱい喜びを表現し、周りからは大きな歓声が

沸き起こりました。身体的な障害からボールを投げることができない方には、すべり台に似た補助具の上にボールを置き、補助具の上からピンに向かってボールを落下させる方法を取っていることから、健常者と同様に楽しんでいただきました。

ゲーム終了後に表彰式を行ったが、多くの参加者に賞品が行き渡るよう、幾つかの個人賞と団体賞を設けたことから、表彰のつどに何度も大きな拍手と歓声に包まれました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、参加者には明日からの各施設での作業の活力になっていただけたと思います。

参加者の皆さんからは多くのお礼の言葉をいただき、クラブメンバーも温かな気持ちとなり、笑顔で来年の開催と再会を約し散会しました。

ゾーン献血奉仕他団体協力事業

2 R ・ 3 Z ・ 5 L C
(藤枝・島田・焼津・榛南・川根LC)



9月8日(日)2 R 3 Z 5 クラブの合同アクティビティとして、静岡県消防操法大会会場（焼津漁港 新港野積場用地）での献血奉仕活動を実施しました。

2R3ゾーン内では、各クラブがそれぞれの事業として献血奉仕を行っていますが、今回はライオンズクラブのPR活動を兼ねて5クラブ合同事業として行う運びとなりました。

当日は、台風接近の中、静岡県内自動車ポンプ、小型ポンプともに20部隊1000人ほどの消防団員が集結し、消防操法大会が開催されました。

多くの消防団員の方々が、貴重な時間を割いていただき、献血に興味を持って申し込みをしてくださいました。それと同時にライオンズクラブもPRでき奉仕活動に興味を持ってくださる団員の方もあられ、とても良い機会を得ることができました。

他地区では消防団員の方達だけのレスキューライオンズクラブなどがあると聞いておりますので、消防団の若い方達の力を借り、今年度ガバナー方針の中にある、支部クラブ・スペシャリティクラブ結成への足掛かりとなりとなっていければ、今後の会員増強の一翼を担えるのではと考えています。

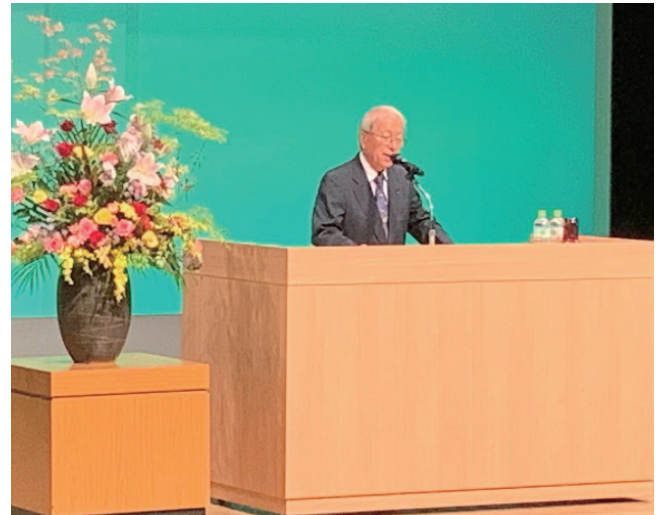
今後も3ゾーン合同アクティビティとして、団体の垣根を越えて様々な団体と協力コラボさせて頂きながら、魅力ある奉仕事業を通してライオンズクラブPR活動ができていければと考えております。ライオンズクラブの根幹である奉仕を充実させていく事が何よりのPRや会員の満足度を高め会員維持へと繋がって行くものと感じました。

SPECIAL EDITION

「今川義元公の実像に迫る！」小和田哲男氏講演会

令和元年11月6日

2 R・4 Z 静岡弥生LC



今年度の2リジョン4ゾーン5クラブの合同アクティビティは、2ゾーンと合同で、静岡大学名誉教授の小和田先生の講演会を開催しました。タイトルは「今川義元公の実像に迫る！」です。

今川義元公生誕500年となる今年は、各地で催事が行われています。私達も徳川時代以前の230年もの間、静岡市の基盤を作り上げた今川家を今、見直す時だろうと考え、このアクティビティを企画しました。

桶狭間の戦いで敗れた武将としか頭になかったのですが、小和田先生の講演を聞き、今川義元公の素晴らしい政策、行動力が私達の既成概念を一転させました。令和2年の5月には、今川義元公の銅像が静岡駅前の竹千代像の横に設置されることも決まりました。今後は、静岡市民として、今まで以上に今川家について語り継いでいきたいものです。

さて、この企画は、本年の4月頃より、静岡弥生LCの担当委員会で検討して参りました。

それぞれの担当ごとに役割をこなし、特に広報部では、当日のチラシやポスターの作成、そして「今川さん」のキャラクターのLEDライトキーリングも製作し、市役所、商工会議所、各団体に事前に配布しました。また、ZCの例会訪問時にも各クラブのメンバーに渡し、PRに努めました。そして4ゾーン各クラブの皆様にも、PRにご協力頂きました。当日は、担当クラブの静岡弥生LCメンバーは事前のリハーサルが功を奏し、皆、手際よく動いてくれました。

聴講者も3000人を超え、時間通りに終了出来たこと、また、小和田先生の講演会は良かったよと聞かたびに、嬉しく思います。

皆様、有難うございました

光と愛を “献眼運動”

3 R ・ 1 Z 沼津香陵 L C



2018年7月1日～2019年6月30日の間の対象者10名の献眼者に対する献眼者厚生労働大臣感謝状伝達式を、千本プラザの大会議室に於いて、10月27日（日）午後2時より開催致しました。

献眼者のご遺族やライオンズクラブ会員約50名が参加する中で、献眼者に黙祷を捧げました。この10名の中に昨年11月に99歳で他界した献眼運動第一人者である勸山弘氏が含まれています。ご承知の通り献眼登録運動を全国に広め、NPO法人日本アイバンク運動推進協議会元最高顧問の勸山弘氏の功績は、他に類を見ない世界へのアクティビティの運動として周知・理解され多くの市民を巻き込んだ運動に発展してきました。

私達沼津地区では5LC（沼津LC・沼津千本LC・沼津香陵LC・沼津中央LC・沼津駿河LC）が、1年を通してローテーションに従い長きに亘り献眼運動に取り組んでいます。

式典は主催者挨拶にはじまり、頼重沼津市長から遺族や関係者に感謝状の伝達が行われました。来賓挨拶に移ると頼重市長は、多大な協力と理解によって献眼活動が続いていることに対して敬意を示し、目の不自由な人にとって、かけがえのない希望の光への架け橋となっていると話され、献眼発祥の地として、活動が世界に広がるよう願っていますと締めくくりました。

続いてご遺族様を代表して、勸山師の長男で、真楽寺の住職を務める勸山光明さん（68）が、「父親は昨年11月に99年間お世話になった角膜を提供した。一生に一度しかできない慈悲の行為。誠に意義が深いものがあり、さらに献眼運動を飛躍させ、角膜を待っている人たちに光・愛を」と遺族を代表して挨拶されました。式典終了後、千本松原内にある献眼者慰霊碑に新たな献眼者10名の名を加えた芳名簿を納めました。今後も5LCが協力・共同して献眼活動がさらなる前進が勝ち取れるように、奮闘する事を誓います。

SPECIAL EDITION

令和元年度防風林植樹事業

3 R・2 Z 富士岳南LC



2019年10月19日（土）9時より、田子の浦西岸三四軒屋地区にて、防風林植樹事業を実施いたしました。

本事業は、当クラブの環境保全委員会主導のもと、富士市産業経済部林政課より提供していただいた苗木を、後の防風林として、地区の防災に役立てていただくために、三四軒屋地区の住民の方々と協力して、実施しています。

18年度に続き本年度もまた、当日の雨が心配されましたが、前日及び当日の早朝から奮闘した環境保全委員会の方々の頑張りが通じたのでしょうか、開始時刻には雨も上がり、晴天の中とまではいきませんでした。雨に降られることもなく、無事に終わることができました。

土曜日の早朝からにも拘らず、多くの方々に参加していただき、用意した300本の苗木は、瞬く間に植えられていきました。

一昨年に環境保全委員をしていましたので、委員会の方々がどれだけの下準備をしているか、よく分かっていますが、ここまでスムーズに作業が進むのは、委員会の方々の尽力の賜物と言えます。

今般、大きな災害が日本全国を襲い、甚大な被害を各地に引き起こしています。幸いなことに、富士地区ではまだ、大きな被害の出るような災害は起きていませんが、いつどのような災害に襲われるか、予断を許さないような状態と言えるのではないのでしょうか。

我々のクラブが一事業として出来ることは、わずかかもしれませんが、少しでもお役に立てることを信じて、このような事業を継続して行っていきたいと考えます。

参加された皆様、環境保全委員会の皆様、本当にお疲れさまでした。

「第6回長泉ライオンキッズデー ～昭和の遊び体験イベント～」

3 R ・ 3 Z 長泉LC



静岡県・長泉町ライオンズクラブ「昭和の遊び体験とプロレスコラボイベント開催！」2019年10月6日（日）に長泉ライオンズクラブ（会長 高田泰久）は今回で6回目となる「ライオンキッズデー～昭和の遊び体験イベント～」を開催しました。

長泉町は人口約42,000人規模の町ですが、当日は約1,000名のたくさんの親子が集まり、昭和の遊び体験にチャレンジしていただきました。

今回も事前に町内の小学校、幼稚園、養護、障害者、高齢者施設にもチラシ、ポスターを持参して案内に回らせていただき、中には団体バスでご来場する施設の方もいらっしゃいました。

遊びのコーナーとして、コマ回し、けん玉、竹トンボ、フラフープ、めんこ、型抜きや、地元のボーイスカウトが割り箸鉄砲のコーナーを設け、うまく上手に出来たら駄菓子をプレゼントいたしました。

またスタンプラリーを行い、記念品としてライオンズクラブの名前が刻印された鉛筆を子ども達にプレゼントいたしました。

やはり昭和の昔遊びは、子ども達も若い

お父さんやお母さんも初めて体験する遊びもあって、悪戦苦闘しておりましたが、親子で夢中になって楽しんでおりました。指導にあたる我々ライオンズクラブのメンバーも当日に備え昔遊びを特訓するなど、準備も万全でした。

また今回のイベントも地元長泉町の「ながいずみプロレス」という団体があり、湘南の「プロレスリングFREEDOMS」というプロレス団体とコラボして、リングは無くともマットを用意し、子ども達の目の前で芝生プロレスの試合を開催いたしました。他にも新たな取り組みとして献血車を会場に用意し、献血の御協力なども保護者の方にもたくさんご協力して頂いた充実したイベントとなりました。

ライオンキッズデーも、すっかり毎年恒例となり、長泉ライオンズクラブの名物イベントとなりました。

町内の子ども達からもこのイベントの知名度は抜群に上がり、毎年来場者も回を重ねるごとに増え続けております。今後もこのイベントは地元に着目している団体さんともコラボして長泉ライオンズクラブのPRも兼ねて開催していきます！

SPECIAL EDITION

10月6日77クラブ統一奉仕の日 フードバンクに食料品寄贈

3R・4Z 富士宮LC



昨年に引き続き、334-C地区77クラブ統一奉仕として、3R4Z合同事業『フードバンクふじのくに』へ食料品寄贈を行いました。

10月6日当日は、早朝より4Z3クラブのメンバーが富士宮ライオンズクラブ事務所へ集まり、ZC L 篠原松太郎の指揮のもと、各クラブメンバーから寄せられた食料品（インスタント食品、その他食品の段ボール箱45個、お米420キロ等）をワゴン車へ積み込み、富士市の寄贈先へ運搬しました。搬送先では、認定NPO法人フードバンクふじのくにの事務局次長、鈴木様にお出迎えいただき、施設の方々が運搬にご協力いただきました。

鈴木様からは、食糧支援は命の維持の為にとても重要な奉仕であり、今後も支援をいただきたい旨、熱く語っていただきました。また、10月16日に開催されました、3R4Zチャリティーゴルフコンペのチャリティー先もフードバンクふじのくにでした。

事前に集めたチャリティー基金により、お米200キロも10月6日に寄贈済みでしたので、当日の表彰式には、鈴木様にお越しいただき、目録の贈呈を行いました。

参加した3クラブ37名のメンバーに向けて鈴木様が食糧支援の重要性・継続性や、フードバンクの活動内容等のご説明をいただきました。食べることに不自由な方々の為にも、今後も真剣に取り組んでいかなければと考えさせられました。

宴会時、お料理の食べ残しを無くすことや、まだ使える物を捨てる、ある物を買う、賞味期限を切らす、ということ無くし、また、限りある資源の無駄遣い等の無いような社会にしていける様、ライオンズ精神によりひろく

周知していければと考えていきます。

天城山自然環境保全 地域活性化事業の取り組み

4R1Z・2Z 合同アクティビティ



伊豆半島の1Z・2Zの16のライオンズクラブは、8年前より天城山の環境保全事業に取り組んでまいりました。

天城山は伊豆半島の中央部を東西につらなる山なみの総称です。国有林の占める割合が広く、尾根筋はほとんど国有林で、原生林におおわれ、すばらしい自然が残された貴重な所です。植物観察、バードウォッチング、そしてハイキング・登山に適した所です。

伊豆の最高峰の万三郎岳（1,406m）は一般的なコースです。天城高原ゴルフ場手前にある、ハイカー専用駐車場前の登り口より天然林と植林帯との間を歩いてゆくと、万二郎岳登山口に着きます。右に進むと菅引分岐点、左に進み万二郎岳（1,300m）に向います。この道を登ると、木々の間より北に富士山、南アルプス、南東には大島、新島などが見ることができます。万二郎岳より少し下った岩場は、一番の好展望が目の前に広がります。再び下り上り返すと馬の背です。このあと、アセビのトンネルをすぎて下ると石楠立（はなだて）です。

このあたりから、ヒメシャラ、ブナが多くなり、天城山を代表するアマギシャクナゲが多く見られ、5月中旬～6月上旬までピンクの美しい花が私たちを迎えてくれます。

まだまだ紹介をしたい素晴らしい見所はたくさんありますが、それはさて置きまして、長い間多くの人々に愛されてきた天城山は、私たちに多くの恩恵をもたらした自然財産ではありますが、この天城山に今、異変が起きているのです。

その一つが鹿による食害です。スズタケやミヤマクマザサなどのササ類が食害で消えました。樹木の皮剥ぎによる立枯れ、農産物の被害も多く発生しております。

その二が荒れる登山道です。日本百名山の一つに数えられ、年間10万人ほどが訪れる人気の山で、雨が多い自然条件に加え、登山道の痛みが激しく、登山者は本来の登山道が歩きづらくなったために脇を歩き、植生を踏み付け、樹木の根も至る所で踏み付けられているのが現状です。

（次ページへ続く）

SPECIAL EDITION

天城山自然環境保全 地域活性化事業の取り組み

4R1Z・2Z 合同アクティビティ



その三は、天城連山全体の環境保全が進んでいないことです。保水力の無くなった山は、大被害を引き起こす要因であり、河川は洪水と渇水の繰り返しで、特に鮎の友釣りで有名な狩野川は昔の面影はありません。「天城なる山から出でて鮎の川」「鮎の瀬の瀬音はやがて唄になる」こんな素晴らしい歌のある狩野川です。

私たち4Rの16のLCは、2011年より天城山系の荒廃を憂慮して、メンバー1名千円を活動費として拠出し（420名）「天城山自然環境保全・地域活性化事業」を展開してきました。これまでの事業としては、パンフレット及びDVDの作成、ポスターとパネルの作成、縦走路に橋の建設、16のLC名入れの案内看板を設置、八丁池周辺の清掃活動、皮子平の視察などを行ってきました。

前年度は、一般の方を対象とした講演会及びシンポジウムを行うと共に、天城環境保全のHPを開設し、16クラブのHPを立ち上げました。

今年度は、10月27日に伊東のボイスカウト、ご家族様・指導者並びにライオンメンバー22名も参加し、天城山荒廃検証として万二郎岳を総勢60名程で登山しました。

当日は1ZCL中才・2ZCL前田も参加して、環境カウンセラーで伊豆半島ジオガイドの山口康弘様・団委員長の案内で、崖崩れの現場や傷んだ登山道、倒木などの状況などの確認をしました。縦走路には鹿が食べないアセビやトリカブトなどの有害植物などで食害がかなり進んでいる状況が確認できました。ブナが無くなりヒメジャラが増えている状況など、温暖化により森の様相がかなり変わっていることなども分かりました。

これから活動は天城山の状況を多くの人に知っていただき、各種団体とのコラボレーションを図り、お互いに知恵を出す場としての勉強会や講演会等を行い、次の世代を担う若者との情報交換の場としての輪を広げ、自然の環境保全改善と同時に、地域の活性化に結び付けていきたいものです。

最近の傾向として台風等による災害が実に多い、あの忌まわしい「狩野川台風」を忘れることなく、出来ることを一つずつ積み重ねていきたい、4Rの共同アクトとして力を結集していこう。

ライオンズクラブ国際協会334-C地区 第66回年次大会へのお誘い

地区内メンバーの皆様には、令和と元号が改められて最初の新春を新たな気持ちで迎えられたことと思います。常日頃からライオニズム高揚のためにご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度当初「愛と光の身近な奉仕 ^{あした}ライオンズスピリットで未来を築こう」の地区アクティビティ・スローガンを掲げさせていただきましたが、各クラブメンバーの皆様方には、それぞれの地域で、知性・友愛・相互理解の精神のもと、真心と愛情を込めた奉仕活動を行っていただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、既にご案内の通り“第66回地区年次大会”を、来る4月19日(日)浜松市・アクトシティ浜松にて開催いたします。

地区年次大会は、地区内77クラブの奉仕活動の集大成の場であります。この一年間の各クラブの奉仕の軌跡を振り返り、共に称えあつて次年度の一層の活躍を期する場となるよう、ホストの1R1Z8クラブメンバー一同鋭意準備を進めておりますので、是非、多くの皆様にご参加をいただきますようご案内申し上げます。

今大会開催地の浜松市は東に天竜川、西に浜名湖、南に遠州灘を、そして北には秋葉山を擁し、遠くに連なる赤石山脈の麓に位置する自然と産業が豊かな地であります。そして、この地に根付くものづくりの伝統を生かした「産業創造都市」と音楽の都づくりを核とする「文化創造都市」として、新たな発展を目指しているところでもあります。ご参加の皆様方には、是非、この浜松市の息吹を感じ取っていただければ幸いに存じます。

記念チャリティゴルフ大会は3月25日(水)湖西市の浜名湖カントリークラブにて開催いたします。皆様奮ってのご参加をお待ちしております。

新緑溢れ風薫る卯月19日、アクトシティ浜松で皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

ライオンズクラブ国際協会334-C地区 第66回年次大会



大会会長・地区ガバナー
大石 清美



大会委員長
江川 博 敏



愛と光の身近な奉仕
あした
ライオンズスピリットで未来を築こう



ライオンズクラブ国際協会334-C地区
第66回 年次大会

2020年4月19日(日) アクトシティ浜松

事務局だより

2019～2020年度第3回キャビネット会議報告



2019～2020年度第3回キャビネット会議が1月29日(水)静岡市において開催されました。当日承認された主な事項は次の通りです。詳細は、資料と議事要録でご確認下さい。

《協議事項》

1. 2019～2020年度地区会計中間報告並びに監査報告
2. 次期クラブ三役セミナー実施について
3. 第66回地区年次大会議事規則・代議員議事運営構成表・当日投票実施手順・年次表彰規定の確認について
4. 第66回地区年次大会実行表改訂について・前当日スケジュール並びに分担・使用会場控室等について
5. 次期地区ガバナー及び次期第一・第二副地区ガバナー立候補者承認並びに、
次期キャビネット幹事・会計予定者了解について

※キャビネット会議議事要録をはじめ、地区の各種委員会議事要録や統計資料は地区ホームページの「会員専用」ページに公開しています。会員専用ページに入るにはパスワードが必要です。
クラブ事務局がキャビネット事務局にお問い合わせ下さい。

《2019年冬季YCE来日青少年について》

昨年12月5日～29日にかけて当地区へ3名のYCE生が来日しました。内訳：イタリア女子(長泉LC)マレーシア女子(焼津LC)・男子(天城湯ヶ島LC)。冬季複合地区主催のユースキャンプは12月15日～20日までA地区愛知県美浜を中心に開催され、後半は京都見学が実施されて、全員年末29日には帰国しました。ホストクラブ・ホストファミリーの皆様には年末のご多忙の中、温かいご協力に心より感謝申し上げます。

2020年2月～地区キャビネットスケジュール

- | | |
|---|--------------------------------------|
| ● 2/19(水) 第3回地区青少年・クエスト委員会
薬物乱用防止教育認定講師研修会 | ● 3/11(水) 第4回地区GAT会議 |
| ● 2/26(水) 第4回FWT・GST委員会合同会議 | ● 3/19(木) 第4回キャビネット会議 |
| ● 2/28(金) 第2回YCE委員会 | ● 3/25(水) 第66回地区年次大会
記念チャリティゴルフ大会 |
| ● 3/ 6(金) 第4回ガバナーチーム会議
年次表彰最終審査会 | ● 4/19(日) 第66回地区年次大会 |
| | ● 4/27(月) 次期地区役員・クラブ三役セミナー |
| | ● 5/17(日) 第66回334複合地区年次大会 |

2019年8月～2020年1月物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2019. 8.13 L	鈴木 光 夫	沼津LC
2019. 8.13 L	中西 基 裾	野LC
2019. 8.14 L	筒井 孝 次	静岡青葉LC
2019. 8.25 L	加藤 太 郎	島田LC
2019. 9. 7 L	渡邊 汎	富士吉原LC
2019.10. 2 L	松本 純 子	清水町LC
2019.10. 4 L	中川 和 夫	浜松グリーンLC
2019.10.17 L	小野 清	静岡芙蓉LC

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2019.11.10 L	土屋 康 男	豊田LC
2019.12. 8 L	稲野 雅 信	沼津LC
2019.12.19 L	望月 義 夫	清水LC
2019.12.26 L	小澤 昌 利	静岡駿府LC
2020. 1. 5 L	中野 健 一	静岡翼LC
2020. 1. 6 L	山本 尚 海	袋井LC
2020. 1.16 L	石井 康 雄	富士吉原LC
2020. 1.19 L	栗本 悦 子	熱海LC

the Lion



☆表紙の写真

「島田市 島田大祭 帯祭り」

☆裏表紙の写真

上「疾走」 島田市 島田大祭 帯祭り

右「踊り」 裾野市 阿波踊り

